

米国 原油価格の上昇等により貿易赤字は再拡大 (06年12月貿易統計)

2007年2月13日(火)

～10-12月期の実質GDP成長率は下方改定される公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

 (03-5221-5001 : sei@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
06/04	▲635.17	▲696.59	+61.42	+0.1	(+9.9)	▲0.6	+0.8	(+10.4)	+0.9
06/05	▲652.60	▲711.09	+58.49	+2.2	(+12.3)	+2.7	+2.4	(+13.3)	+2.4
06/06	▲646.11	▲701.05	+54.94	+2.3	(+14.2)	+3.5	+1.1	(+12.9)	+1.2
06/07	▲676.28	▲735.42	+59.14	▲1.1	(+12.4)	▲1.7	+0.9	(+13.8)	+1.2
06/08	▲686.14	▲749.59	+63.45	+2.3	(+13.4)	+3.0	+2.0	(+14.6)	+2.5
06/09	▲643.50	▲703.85	+60.35	+0.5	(+15.8)	+0.6	▲1.9	(+9.4)	▲2.5
06/10	▲588.95	▲651.18	+62.23	+0.3	(+13.6)	▲0.1	▲2.7	(+4.1)	▲3.4
06/11	▲581.15	▲647.70	+66.55	+1.1	(+13.4)	+0.9	+0.3	(+5.1)	+0.3
06/12	▲611.82	▲681.87	+70.05	+0.6	(+11.5)	+0.5	+2.1	(+5.6)	+2.5

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出				輸入					
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
06/05	+2.8	+3.2	+2.4	▲1.3	+5.1	+2.4	+7.9	+0.5	▲2.4	+0.6
06/06	+3.3	+3.3	+2.7	+4.9	+1.8	+1.2	▲1.3	▲0.1	+6.2	+3.2
06/07	▲1.6	▲2.6	▲3.8	+7.2	+1.2	+1.2	+4.1	+2.1	▲5.7	+0.3
06/08	+3.1	+2.3	+3.8	▲1.4	+2.2	+2.5	+3.1	+2.7	+2.2	+1.5
06/09	+0.7	+4.2	+2.0	▲7.1	▲3.2	▲2.4	▲6.4	▲1.5	▲1.7	+1.7
06/10	▲0.1	▲1.7	+0.1	▲0.7	+3.7	▲3.4	▲10.2	▲0.8	▲1.4	+0.5
06/11	+1.2	▲1.4	+1.9	+3.7	+1.4	+0.3	▲2.2	+1.0	+2.0	+2.6
06/12	+0.3	▲0.9	▲0.2	+5.8	+1.2	+2.5	+3.6	▲0.7	+7.2	+2.0

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automotives

*3: Automotives vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automotives

	輸出						輸入					
		カナダ	中南米	EU	太平洋工業国			カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	
06/05	+15.5	+11.9	+15.8	+14.5	+17.6	+15.9	+16.6	+12.1	+17.9	+9.3	+13.6	+11.1
06/06	+16.2	+11.7	+16.4	+23.2	+15.5	+7.1	+13.4	+11.1	+16.0	+7.0	+9.3	+3.1
06/07	+13.5	+12.9	+16.1	+11.3	+14.4	+3.9	+15.4	+6.9	+18.9	+14.4	+13.1	+10.1
06/08	+15.5	+11.1	+15.1	+21.4	+10.4	+3.1	+14.5	+5.2	+19.4	+11.9	+14.7	+9.7
06/09	+18.9	+4.8	+16.4	+25.1	+21.8	+15.4	+8.4	▲3.9	+11.0	+2.0	+13.4	+9.3
06/10	+16.2	+6.4	+20.2	+18.5	+13.8	+12.4	+5.3	▲8.3	+7.9	+2.0	+13.7	+12.8
06/11	+15.9	+7.1	+17.0	+14.6	+20.0	+9.6	+4.4	▲5.6	+4.7	+1.4	+13.7	+8.6
06/12	+11.7	+2.5	+6.8	+14.0	+16.1	▲0.9	+3.2	▲9.4	▲0.9	+5.0	+9.5	+5.8

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

611.82億ドルと3ヵ月ぶりの大台

2006年12月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、611.82億ドルと輸入の拡大によって市場コンセンサスの▲597億ドルを上回った(前月比+5.3%)。サービス収支の黒字額が拡大したものの、財収支の赤字額が拡大した。なお、11月は▲581.15億ドル(▲582.33億ドル)に下方改定された。

輸出は、民間航空機・同部品、通信機器、半導体、コンピューターが減少した一方、石油掘削機、自動車、絵画・骨董品・切手、産業機器が拡大したことにより前

月比+0.6%とプラスを維持した。

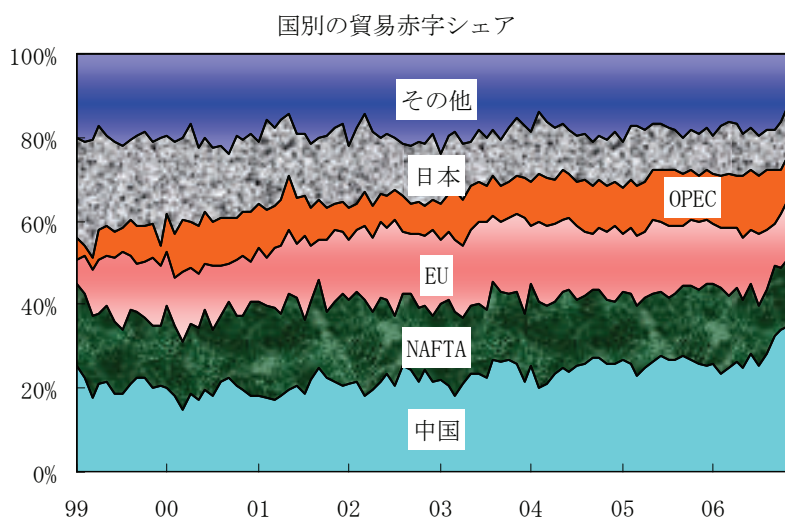
輸入は産業資材、消費財、自動車の増加等により前月比+2.1%と加速した。財別では、産業資材は原油、石油製品、液化石油ガス、燃料油等の増加によって押し上げられた。原油輸入は、輸入量が2億9353.8万バレルと前月から減少したものの輸入価格が1バレル=53.84ドルと上昇したこともあり、季節調整後の数字は前月比+5.0%と増加した。自動車は高い燃費効率への需要増加を背景に拡大した。消費財はクリスマス商戦向けのゲーム、アパレル、家庭用品等の増加を映じて拡大した。一方、資本財はコンピューター、通信機器等の縮小により減少した。

10～12月期の実質GDP は下方修正される公算

12月の実質財サービス貿易赤字が米商務省が想定していた額を上回ったため、10～12月期純輸出のGDP寄与度は0.2%ポイント下方修正されると見込まれる。さらに、在庫の減少幅が大きくなっていることから、10～12月期の実質GDPは速報の前期比年率+3.5%から同+2.8%程度に下方修正されよう。

対OPECの赤字額だけが 前月から増加

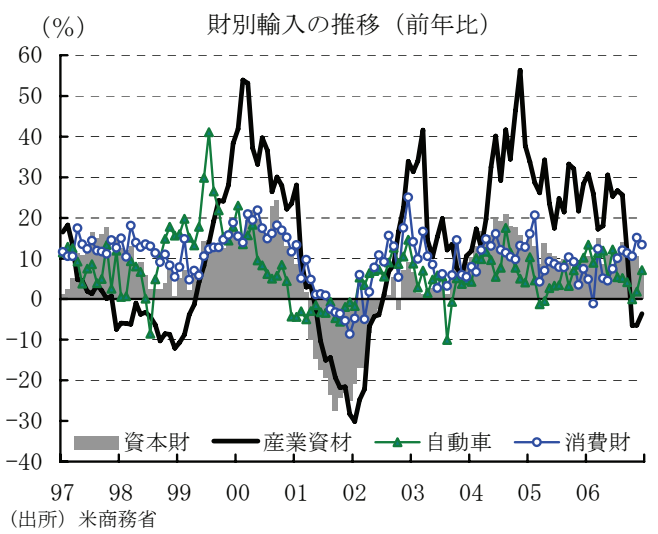
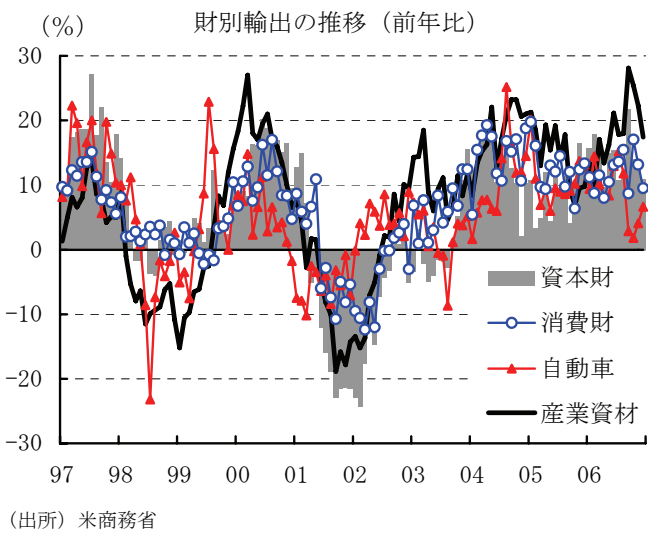
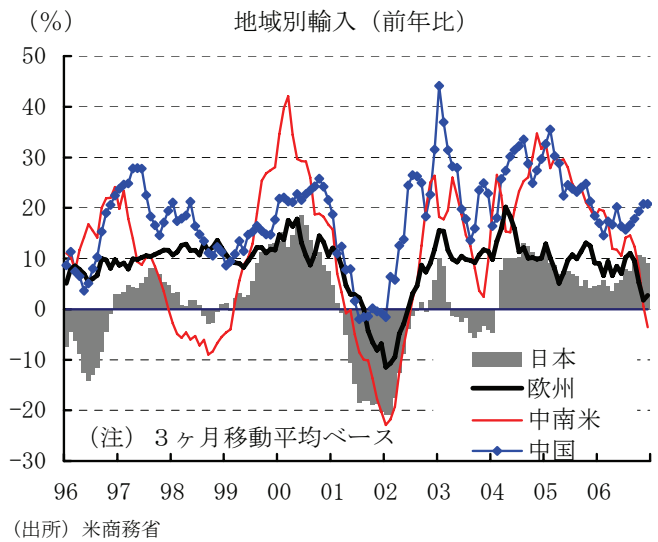
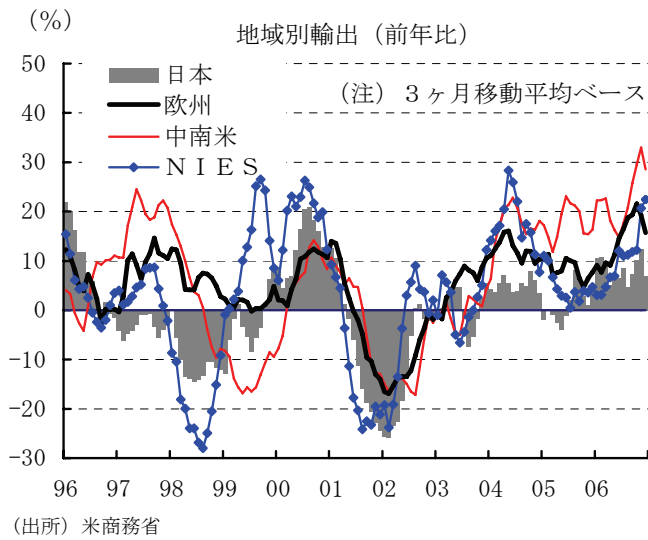
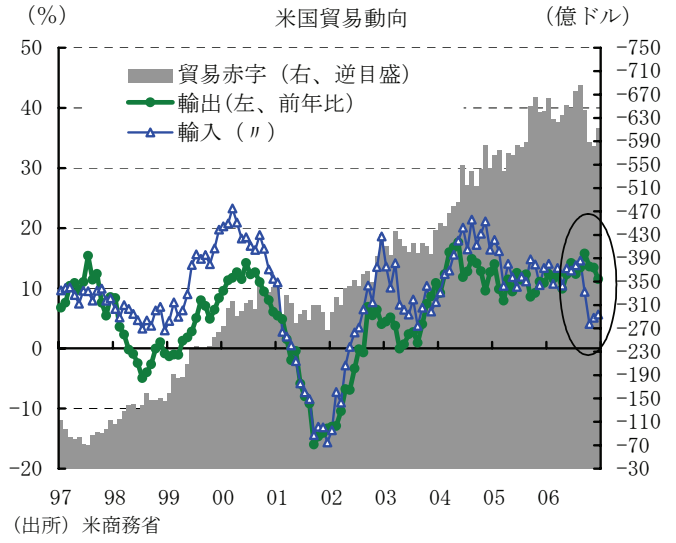
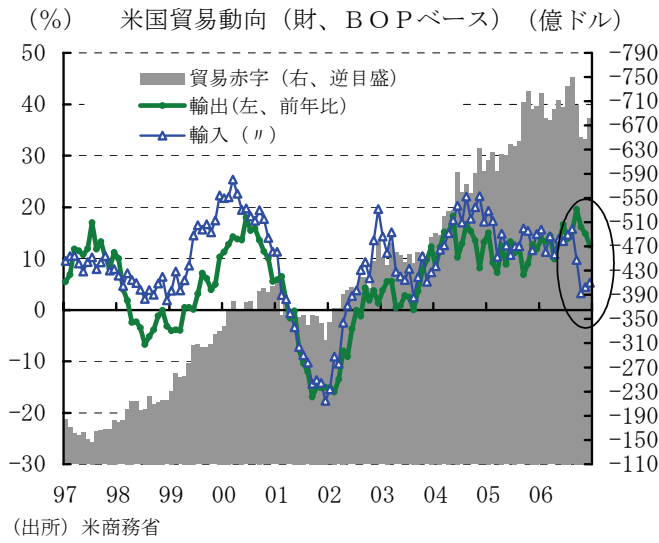
地域別収支では、対中国赤字額が▲190.0億ドル（前年比+17.1%）と前月から減少し貿易赤字全体に占める割合は31.8%に縮小した。対日が▲74.57億ドル（同+10.7%）、対NAFTAが▲105.81億ドル（同▲16.6%）、対欧州が▲89.73億ドル（同▲9.9%）と赤字額が縮小した。さらに、対NIESが+10.13億ドル（同▲190.9%）と黒字に転じた。一方、対OPECは原油価格の上昇により▲68.78億ドル（同▲8.4%）と前月から赤字額が小幅拡大した。



貿易赤字は2007年前半 小幅縮小にとどまる可 能性

今後、輸出はドル安効果、海外景気の拡大、これまで受注した民間航空機の出荷によって拡大基調を維持すると予想される。一方、輸入は暖冬に伴いエネルギー需要が1月前半に鈍化したものの、堅調な個人消費を映じて拡大基調を辿ろう。この結果、2007年前半の貿易赤字は小幅縮小にとどまると見込まれる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。